

Daiichi Lifeグループ行動規範



目次

1	グループCEOメッセージ	3
2	Daiichi Lifeグループ企業理念と行動規範	4
3	行動規範とは	5
4	行動規範の実践	6
5	行動規範を守らなかった場合	8
6	問題事象の通報・相談	8
7	私たちがとるべき行動	9
	お客さまのための行動	10
	社会からの信頼確保	12
	社員のための行動	14
	ベースとなる行動	16

1. グループCEOメッセージ ～Daiichi Lifeグループの皆さんへ～

世界がますます複雑化し、地球規模での環境問題、地政学リスクの変動等、急激で非連続な変化が起こる時代となっています。生成AIをはじめとするテクノロジーの進化も目を見張るものがあります。また、人々の価値感やライフスタイルの多様化も加速しています。世界や社会でこのような大きな変化が起き、多くの社会課題も認識されている中、私たち企業は、自身が何のために存在するのかを考え続けると共に、人々の悩みや不便、社会課題の解決に真摯に取り組み、社会に対する価値を創造していくことが一層求められています。

Daiichi Lifeグループは、グループ企業理念としてパーパス(グループの存在意義)とバリューズ(大切にしている価値観)を定めました。グループのパーパスは「共に歩み、未来をひらく 多様な幸せと希望に満ちた世界へ」です。Daiichi Lifeグループの目指したい世界は、一人ひとりの異なる価値観や生き方が尊重され、多様な幸せと未来への希望に満ちた世界です。そして、私たちの使命は、このような世界を実現するために、お客さまをはじめとするステークホルダーと共に歩み、未来を切りひらくための挑戦をし続けていくことです。

また、パーパスを実現していくためには、3つのバリューズである「いちばん、人を考える」「まっすぐに、最良を追求する」「まっさきに、変革を実現する」をDaiichi Lifeグループの全員が共有し、常にこれらに基づいて行動していくことが必要だと考えています。

グループ行動規範は、私達一人ひとりが、ステークホルダーとの信頼関係を築き、グループのパーパスを実現するために、バリューズに基づいて、考え、判断し、行動するための具体的な行動指針です。お客さまをはじめとするステークホルダーのことを誰よりも深く考え、インテグリティ(高潔性)を大切に、正しい行動を実践していくことを定めています。

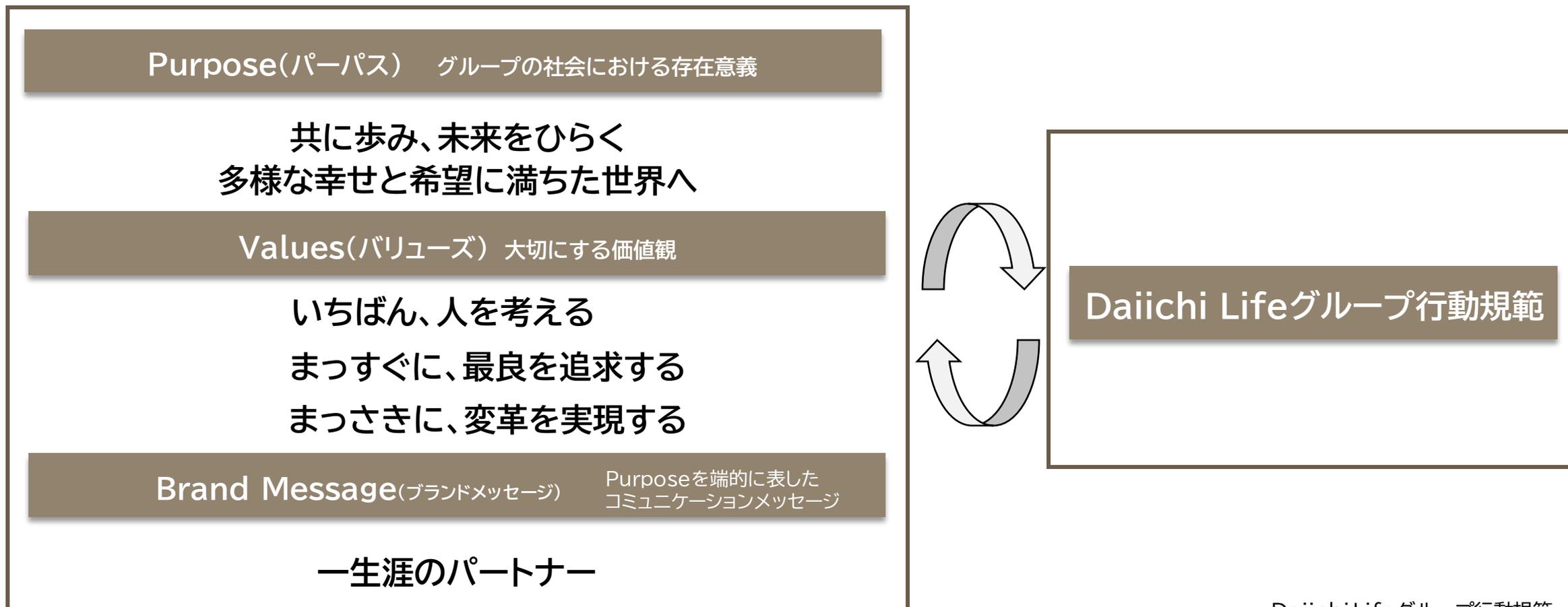
Daiichi Lifeグループの一人ひとりが高い倫理感を持ちながら、誇りと喜びを持って業務に取り組むことで、グループのパーパスを実現し、社会にとってなくてはならないDaiichi Lifeグループであり続けることができると強く信じています。



株式会社第一ライフグループ
代表取締役社長グループCEO 菊田 徹也

2. Daiichi Lifeグループ企業理念と行動規範

Daiichi Lifeグループ行動規範は、私達一人ひとりが、ステークホルダーとの信頼関係を築き、グループのパーパスを実現するために、バリューズに基づいて、考え、判断し、行動するための具体的な行動指針です。行動規範を実践することで、お客さま・社会・会社(仲間)からの信頼・期待に応える行動を実現していきます。

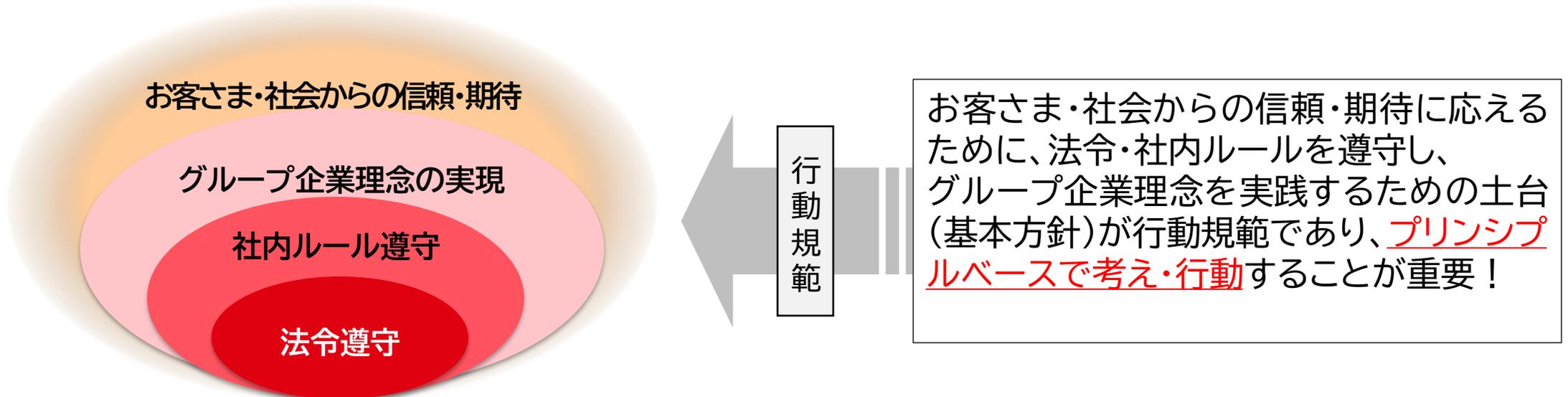


3. 行動規範とは

Daiichi Lifeグループは、グループ企業理念を実践し、「事業活動」と「社会的価値の創造」に一体で取り組み、すべてのステークホルダーからの期待を実現することで、持続的な企業価値の創造に努めます。

行動規範はこのグループ企業理念を実践するため、すべての役員・社員がプリンシプルベースで考え、行動するにあたっての最も基本的な指針となるものです。私たちが日々の業務を遂行するにあたっては、高い倫理観をもって取り組む必要があり、その際によりどころとなるものが行動規範となります。

判断に悩む場合も、必ずこの行動規範に立ち戻って考えることが重要です。



4. 行動規範の実践

行動規範は、Daiichi Lifeグループの全員が対象となります。ただし、関連会社と個別の行動規範等が適用中のグループ会社は除くことができます。

行動規範を実践することが、お客さま・社会・会社(仲間)からの信頼・期待に応える行動の実現につながっていきます。判断に悩む場合は、以下の視点から自身の行動を振り返りましょう。

Check	
<input checked="" type="checkbox"/>	各種法令や行動規範・社内の諸規則に違反しませんか？
<input checked="" type="checkbox"/>	その行動は、行動規範の精神に照らして公平・適切なものですか？
<input checked="" type="checkbox"/>	一般常識に照らして不適切・おかしいとみなされる可能性はありませんか？
<input checked="" type="checkbox"/>	自分の利益を優先するなど、自分の都合を正当化していませんか？
<input checked="" type="checkbox"/>	自分の家族・知人に対しても同じような判断・行動ができますか？

すべての項目をクリアしない場合は、行動規範に立ち戻って、どのようにすべきか再度考えてみましょう。また、上席者にも報告・相談をしてください。

上席者は、チームメンバーに対して以下の責務を負っています。

自ら模範を示す

⇒ 行動規範を自ら率先して実践し、チームメンバーを牽引する。

行動規範の浸透を図る

⇒ 行動規範の内容を研修・意識付けを行い、実践できるよう浸透させる。

相談しやすい環境をつくる

⇒ 部下が判断に迷っている場合、相談しやすい環境づくりに努める。同様に問題が発生した場合、問題に気づいた場合も、速やかな報告が行われるように日頃から良好なコミュニケーションづくりに努める。

5. 行動規範を守らなかった場合

- 私たちは、行動規範ならびに法令、規則、会社のルールを守らなければなりません。万一、違反した結果、お客さま・社会・グループ内からの信頼・期待を裏切り、グループのブランド価値・信用を貶める、またはその恐れがある場合は、グループ各社の就業規則等に基づき処分の対象となることがあります。
- グループ内の他者の前項記載の違反等を知りながら上席者への報告を行わない等、放置した場合は、その行動に対して責任を問われる可能性があります。
- 前2項が自組織で発生した場合、上席者は管理者としての責任を問われることがあります。

6. 問題事象の通報・相談

各種法令、社内ルール等や本行動規範等に違反する行為等に気づいたら、速やかに上席者に報告・相談、あるいは内部通報制度を通じて報告します。

7. 私たちがとるべき行動

ベースとなる行動のもと、「お客さまのため」「社会からの信頼確保」「社員のため」の行動としての指針を次ページ以降で示します。

私たちの行動が、会社のブランド価値向上に繋がっていきます。

お客さまのための行動

→P10

誠実・高潔・公平な行動

お客さま本位の行動

情報の適切な取扱い

革新的な商品・サービスを通じた
体験価値向上

社会からの信頼確保

→P12

適切な情報開示

会社資産の適切な取扱い

私的利益追求の禁止

社員のための行動

→P14

互いに尊重し合う働きやすい
職場環境の実現

変革と挑戦

コミュニケーションとチームワーク

ベースとなる行動

→P16

法令等の遵守

人権の尊重

持続可能な社会・未来への貢献

お客さまのための行動



誠実・高潔・公平な行動

お客さま本位の行動

情報の適切な取扱い

革新的な商品・サービスを通じた体験価値向上

お客さまのための行動

誠実・高潔・公平な行動

私たちは、お客さまとの信頼関係の構築に向け、常に誠実さ、インテグリティ(高潔性)、公平性を持って業務を遂行します。

お客さま本位の行動

私たちは、お客さまに寄り添い、ご提案する商品・サービスの内容について正確で分かりやすい説明を行います。

私たちは、お客さまから評価されて選ばれ続けるために、お客さまの声に常に耳を傾け、期待に応える取り組みに努めます。

情報の適切な取扱い

私たちは、「お客さまからの信頼」を守るために、お預かりした情報は、適切な利用・厳格な管理を行います。

革新的な商品・サービスを通じた体験価値向上

時代とともに変化するお客さまの価値観やニーズに合った革新的な商品・サービスの提供に努めます。

Daiichi Lifeグループの総合力を活かし、お客さまの期待を超えるソリューションを提案することにより、お客さま体験価値の最大化を目指します。

社会からの信頼確保



適切な情報開示
会社資産の適切な取扱い
私的利益追求の禁止

社会からの信頼確保

適切な情報開示

私たちは、財務状況を含む業務情報については、必要な範囲で正確な記録・保管を行います。

また、適時・適切な外部への開示を通じて公平・透明性を実現します。

会社資産の適切な取扱い

私たちは、グループ各社の有形・無形の資産を適切に管理し、サイバー関連リスク、不正アクセス、盗難・紛失・悪用等を防ぎ、第三者の情報の機密性・安全性・プライバシーを守ります。

私的利益追求の禁止

私たちは、業務上知りえた情報や職場での立場を悪用して私的利益を得るような不適切な行為や利益相反となる行為を行いません。

社員のための行動



互いに尊重し合う働きやすい職場環境
の実現

変革と挑戦

コミュニケーションとチームワーク

社員のための行動

互いに尊重し合う働きやすい職場環境の実現

私たちは、お互いの違いを認め、尊重し合い、すべての社員が活躍できる安心・安全かつ働きがいのある職場環境づくりに取り組み、すべての社員のwell-beingを実現します。

- あらゆる形態のハラスメントを行わず、他人のこれらの行為を容認しません。
- すべての従業員の心と身体健康増進を図ります。

変革と挑戦

私たちは、一人ひとりが知識・スキル・専門性・人間力を高めると共に、共に成長し、皆で高め合い、互いに成功を支援し、新たな環境に積極的に挑戦し続けます。

あらゆるバックグラウンドや経験、考え方を活かし、個々の能力を最大限に発揮することで新たな価値を創造します。

コミュニケーションとチームワーク

私たちは、コミュニケーションの質を高め、情報・スキル・ノウハウの共有を通じて、チームワーク発揮による最大限の成果を実現するように努めます。

ベースとなる行動



法令等の遵守

人権の尊重

持続可能な社会・未来への貢献

ベースとなる行動

法令等の遵守

私たちは、各国の法令・規則、会社のルールを守り、高い倫理観のもと正しい行動をします。判断に悩んだ場合は、プリンシプルベースで考え、行動します。不正を疑う行動を認識した場合には、速やかに会社に報告します。

グループ全体に適用される基本的な原則には次のものが含まれます。

- (1) 重要な情報を厳格に管理し、インサイダー取引には関与・加担しません。
- (2) マネー・ローンダリング(資金洗浄)、テロ活動への資金支援、経済制裁への抵触、脱税行為への幫助、金融犯罪を防止します。
- (3) 贈収賄・汚職防止のルールを遵守し、社会の疑惑・不信を招くような不適切な接待・贈答は行いません。
- (4) 不公正な取引(優越的地位の濫用、カルテル、相場操縦行為等)については一切関与しません。

ベースとなる行動

人権の尊重

私たちは、すべての人々の人権を尊重し、人権啓発にも積極的に取り組みます。

国籍、人種、民族、年齢、宗教、思想信条、性別、出生、障がいの有無、性的指向、性自認等を含め、いかなる理由でも差別を行いません。また、その行為を容認しません。

持続可能な社会・未来への貢献

私たちは、地球環境保護を含む社会課題への対応を社会的責任と捉え、日常的かつ継続的に取り組みます。

グループ各社の事業活動や企業および個人として行う社会貢献活動等を通じて、持続可能な社会の実現と地域社会の発展に貢献します。

Daiichi Lifeグループ行動規範

制定2024年4月1日

改正2026年4月1日